

## 第 13 回伊賀市歴史的風致維持向上協議会会議録

日 時 2021（令和 3）年 5 月 20 日（水）10：00～11：30

場 所 伊賀市役所 5 階 501 会議室

### 出席者

#### 《学識経験者》

菅原洋一（会長 三重大学名誉教授）

浅野 聡（副会長 三重大学大学院工学研究科教授）

#### 《市民団体代表等》

松生龍治（上野西部地区住民自治協議会長）

奥川繁也（島ヶ原地域まちづくり協議会副会長）

#### 《文化財保護審議会》

滝井利彰（伊賀市文化財保護審議会長（建造物担当））

#### 《行政関係者》

林 幸喜（三重県県土整備部都市政策課長）

代理 福山英樹（三重県県土整備部都市政策課市街地整備班主幹）

藤井理江（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課）

代理 伊藤裕偉（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課有形文化財班長）

東 弘久（伊賀市産業振興部長）

山本 学（伊賀市建設部長）

月井敦子（伊賀市教育委員会事務局長）

#### 《事務局》

堀川敬二（伊賀市産業振興部にぎわい創出推進監兼中心市街地推進課長）

山口利幸（伊賀市建設部都市計画課公園景観係長）

笠井賢治（伊賀市教育委員会事務局文化財課長）

福島伸孝（伊賀市教育委員会事務局文化財課主幹）

## 1. 開会挨拶

事務局長

## 2. 報告事項

(1) 事業経過

(2) 計画変更

《福島主幹が資料により説明》

委員から意見・質問なし。

## 3. 協議事項

### 【令和3年度】

(1) 事業について

《資料 P. 4 『伊賀市歴史的風致維持向上計画』重点区域事業状況一覧(令和2年度実績・令和3年度予算)により福島主幹が説明》

県県土 道路美装化事業、2021年度も事業があるが、昨年度、出来なかった箇所を本年度実施しているという理解でよいか

事務局 計画されたものを実施しており、事業期間を修正したい。

会長 成瀬平馬家長屋門活用事業とポケットパーク事業の事業期間はこれでよいか。完了しているが。

事務局 事業期間の修正をお願いします。成瀬平馬家長屋門の事業は、終了が2020年度、ポケットパーク整備事業は、終了が2019年度です。また、2021年度事業として物件選定とありますが削除願います。

委員 島ヶ原地区の宿場・街道案内板等整備事業について、少しでも実施に向けて予算確保ということであったが、本年度もつかなかったということか。

事務局 予算折衝をしたがつかなかった。設置看板について、より具体的な内容の検討をしたいので協議をお願いしたい。

委員 ぜひ、取り組んでいただきたい。

(2) 中間評価

#### ①方針別・波及効果別シート

《中間評価(最終案)のP. 2～11により福島主幹が説明》

県県土 中間評価についてパブリックコメント時と本日、配られた最終案で修正箇所はあるか。今後はどうされるつもりか。

事務局 パブリックコメント時とかわっていません。本日、審議いただき、修正したものを確認いただき、提出する。

県県土 ところどころ、文言の修正が必要だと思う。パブリックコメント以後であるのでどの程度修正されるかは、事務局にゆだねるが。

事務局 字句修正をさせていただいてよいか。

委員 よい。

会長 P. 2 ①課題と方針の概要について「指定文化財について保存修理や整備が行われていないため、文化財が本来有する価値を顕在化できていない。」が伊賀市は実施しているので「顕在化できていないものもある」でどうか。

事務局 そのように修正します。

②代表的な事業の質・歴史的風致別シート

《中間評価（最終案）の P. 12～26 により福島主幹が説明》

会長 13 ページ、「登録文化財」、23 ページ「国の登録有形文化財」、24 ページ「国登録有形文化財建造物」となるが、統一を。

事務局 表現を統一します。

県教委 14 ページに「高校生や大学生が祭礼について保存会に直接聞き取りを行うなど、上野天神祭への興味・関心が高まっている。」となるが、いつの話なのか、現状を教えてほしい。

事務局 昨年度も感染対策をしつつ実施をされていた。高校生が聞き取りをして発表したり壁新聞を作成したりしている。大学生についても聞き取りがあったと聞いている。

委員 高校や大学の聞き取り要請は、直接、上野美術保存会へ来て対応している。地元小学生への話も対策をしながら実施した。

県県土 議事録を確認するとコロナによる影響について指摘があったはずであるが、あまり記載が見られないが。

事務局 事実確認として記載したい。

副会長 13 ページ、古民家等再生活用事業について、大変な状況の中、2 棟開業できてよかった。東海地方の歴まちの自治体の中でも古民家をこのような形で活用している事例は少なく、大変良い事例であると思う。代表的な事業としてよいと思う。

県県土 古民家再生事業にかかる映像を見たことがあるが、この事業との関りはあるのか。

事務局 担当課とも協議しながら古民家等再生事業を歴まち事業の 1 つとして挙げている。この事業の一環である取り組みであると考えますが、どの程度の経費がかかっているか今、把握はしていない。

### ③意見（パブリックコメント結果など）

《中間評価（最終案）27 ページから 29 ページにより福島主幹が説明》

県県土 会議での意見はどのように反映されるか。庁内意見・評価はあるのか、ないのか。

事務局 意見箇所は、パブリックコメントには挙げていないので、頂いた意見を記載したい。また庁内意見も集約したい。

- 県教委  
事務局 コロナの影響はやはり課題に書いた方がよいと考える。  
資料5ページ。入り込み客数を見ると平成28年度から平成30年度にかけて徐々に伸びているが、令和元年度から減少し、令和2年度は激減しており、厳しい数字となっている。イベントにおいても29年度以降、かなり増加しているが、同様である。
- 事務局 コロナ禍における対応として、感染対策をしながら実施していくという書きぶりとなるが、どうか。
- 会長 そのような形でしか対応できないであろう。
- 委員 島ヶ原の秋祭は、地区ごとに祭礼をして参加いただいた。そのあたりも記載いただけたらと思う。  
昨年度、会合に1度来ていただいたが、コロナ禍のより会合が出来ない状態にあり、話し合いが出来ないので、やっていることや思いへの賛同、意見の集約が難しい。
- 会長 コロナによる影響は、祭礼の担い手と歴史的な景観の維持にとってかなり大きくそのあり方自体を変えてしまう可能性もある。
- 県教委 パブリックコメントに対して1件の意見がなかったことは本当にさみしいことだと考える。伊賀市の取り組みをしっかりと伝えていかないといけない。情報発信をしっかりしてほしい。
- 副会長 空き家対策や都計審にも関わっているが、歴まち計画は、担当部局が多くカバーしているので、広報事業等を含め、連携を図ってください。
- 会長 他部署の施策との連携をさらに図っていく。
- 中地整 これまでの議論において、ハード面では事業が進められ完了し、成果が上がっていること、ソフト面では空き家バンク、ヘリテージマネージャーなどの今後継続されていくことが理解できた。中部地方整備局管内では現在、16の認定都市があり、中歴まち認定都市連携事業検討会や中部歴まちサミットを開催しており、歴まち計画の活発な地域であるので、連携を深めることにより、伊賀市の歴史的風致の維持向上を図っていただきたい。
- 会長 協議は終わりますが、その他事務局からありますか。

#### 4. その他

- 事務局 本日の意見を集約させていただき、中間評価（最終版）として菅原会長に確認いただき、提出したい。国に提出した段階で調整があるのでその修正があれば、確認いただき、報告したいが、そのスケジュールでよろしいか。
- 会長 そのように取り計らってよろしいか。
- 委員 特に意見なし。

#### 5. 閉会挨拶

- 事務局 閉会挨拶

11:30 終了